

## 1. 基本理念

---

澄緑環境、雇用創生、職住接近

---

## 2. 基本理念の背景

地元の資金、人材を活用し、環境に配慮しつつ、次世代の産業の振興を民・公・学の協力で実行する。

## 3. 具体策の提案

### (1) 具体策の提案

- ① 市街中心は、低層に商店・福祉施設、上層に住宅の多目的ビルを建設し、専門店を振興させる。
- ② 小型バスの活用で、人の交流をはかる。(バスプールが必要)
- ③ 芹ヶ谷公園地区を充実し、商店街とつなぐ。
- ④ 市立版画美術館の活用・発展
- ⑤ 農地・緑・自然環境を守りながら新分野の市場に参入する。販売に注力、東急の協力など。
- ⑥ 地元起業家を育成し、雇用の機会を増やす。

### (2) 提案を実現するための方法(例)

- ① 市立版画美術館の隣接地に、今日発展している電子工業の「もの造り」の基礎になっている印刷写真の技術に注目し、産業資料館を建て、産業観光地とする。
- ② 21世紀には発展が期待されている芳香療法(アロマセラピー)、ハーバルライフの市場を

調査し、農家の協力を得て、町田に適したハーブ園を創設する。

- ③ 園芸療法は、障害者・高齢者のためにも有効な対応策なので、福祉にも貢献できる。
- ④ 地元の桜美林、玉川学園、北里などの大学、都立工業技術センター、神奈川県立産業総合研究所などとプロジェクトを組んで、町田向けのベンチャービジネスの創生を常設的に計画する。
- ⑤ 公営による協同ビジネス事務所を設置する。

## Herbal Life College とは

---

今、国内ではリゾートという括りのなかで、ガーデンというかたちの商業施設が増大しつつあります。そこでは、ガーデン観賞という名目のもとに入り込みをはかり、集客された人々に対し飲食と物販を提供するという施設が主となっています。確かに、ガーデン、特にハーブガーデンでは、安・近・短・楽・知・遊の消費者ニーズにも沿ったテーマであるだけに集客がはかれている状態です。しかし、これで本当に消費者ニーズを満足させているのでしょうか。見て、食べて、買って帰るだけでは何かが足りないのではないのでしょうか。

また、一方では私たちの生活は、週休二日制の定着、労働時間短縮に伴う余暇時間の増大が着実に進み、義務教育までもが週休二日制にならんとする勢いです。この創出された時間を有意義に使おうと、文部省を中心に「生涯教育」という大きなテーマの運動が始まっています。衣食足っている現在、人々の欲求は「知」・「学ぶ」というところへ高まってきているのではないのでしょうか。

如何に生きるかというライフウェアを採る現在、私たちの価値観はモノからコトに移っています。そこで私たちは、コトのあふれる新たなリゾート、新たなガーデンのモデルスペースを提案いたします。その「場」がHerbal Life College です。

人間の生きがいには、自らが楽しめるコトのある生活をおくるということにもあると思います。そのコトのなかに「学ぶ」という楽しさや、また自らの知識、経験をひとに「教える」という楽しさもあるのです。即ち、コトとふれあい、人とふれあうのです。Herbal Life Collegeは、この楽しい「時」づくりを多くの方々に提案し、体験していただく「コトの場」です。